



【編集後記】

今号では、愛知大学国際中国学研究センター・天津科技大学食品安全戦略与管理研究センター共催 国際シンポジウム「日中食品安全管理体制比較」の記録をお届けする。食の安全は人間の安全保障のいわば基礎中の基礎であり、日中間のそれが、今後 TPP などにより大きく揺らぐ可能性も高い日米間のそれとの相関的なプロブレマティークをも構成しているのかもしれない。

なお、本年度本誌ジャーナルは、9月頃に尖閣問題の再検証特集、また12月頃には中国外交が最近意識拡張しつつある国際規範をめぐる諸問題の特集などを準備し、より幅広い視座から戦後70周年を迎える日中関係を考えていく予定である。乞うご期待。(N)